

## I. J-REIT資産規模 (2018年3月末現在)

以下、「前四半期」=「前期」とする。

- ◆投資法人: **60投資法人** (前期末 59投資法人) **+1法人**
- ◆物件数: **3,723件** (前期末 3,607件) **+116件**
- ◆資産総額(取得金額ベース): **17兆0,192億円** (前期末 16兆5,161億円) **+5,031億円**
- ◆資産総額(鑑定評価額ベース): **18兆9,790億円** (前期末 18兆3,351億円) **+6,439億円**
  
- ◆1-3月の取得物件: **130件** (前期 50件) **+80件**  
     " 取得金額: **6,884億円** (前期 2,007億円) **+4,877億円**
- ◆1-3月の売却物件: **16件** (前期 30件) **-14件**  
     " 売却金額: **1,762億円** (前期 1,329億円) **+433億円**

### ◇投資法人

- ・2018年4月以降の合併 1件  
 積水ハウス・リート投資法人(SHR)と積水ハウス・レジデンシャル投資法人(SHI)  
 との間の合併契約の効力が、2018年5月1日に発生予定である。  
 SHRが吸収合併存続法人、SHIが吸収合併消滅法人である。

### ◇資産総額

- ①資産総額は取得金額ベース・鑑定評価額ベースのいずれも過去最大、増加基調継続  
 ・取得金額ベースでは2018年3月に17兆円を突破。
- ②2015年4月に、《鑑定評価額ベース》初回取得金額ベースとなり含み益発生  
 ・2009年11月以来約5年半ぶりに逆転し、以降も含み益は増加基調を継続。

### ◇取得・売却

- ①期中の取得件数は130物件、取得金額は約6,884億円  
 ・取得金額・取得件数ともに前期を大きく上回り、  
 投資用不動産の取引市場において、悪化の兆しはみられない。
- ②期中の売却件数は16物件、売却金額は約1,762億円  
 ・売却件数は減ったものの、売却金額は前期を上回った。

TOREIT月次・四半期報告 年間購読料 162,000円

東急不動産株式会社

TOREIT四半期報告 (2018. 4. 30)

1

無断転載を禁ず。「東急不動産J-REITシステム」(TOREIT)並びに本調査が提供する内容について万全を期してはおりますが、その正確性、完全性に関して保証するものではありません。本調査が提供する情報をご利用の際には、ご自身で当該情報の正確性についてご判断頂く必要があります。

## Ⅱ. 鑑定評価キャップレート

### Ⅱ. 鑑定評価キャップレート(CR)

(1) 取得時鑑定キャップレート(※1) **4.6%** -0.2pt 

◆1-3月の取得物件 126件 (前期 49件 4.8%) (CRの非開示物件を除く)

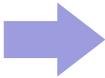
①エリア別(※2)	東京都心5区	19件	: 3.7%	(前期 4件 3.8%)
	その他首都圏	48件	: 4.5%	(前期 24件 4.7%)
	地方	59件	: 5.0%	(前期 21件 5.0%)
②アセットタイプ別	オフィス	21件	: 3.9%	(前期 7件 4.3%)
	共同住宅	51件	: 4.8%	(前期 13件 4.9%)
	ホテル	11件	: 5.1%	(前期 17件 4.9%)
	その他	43件	: 4.7%	(前期 12件 4.7%)

※1 物件取得時に開示された鑑定評価における直接還元法の還元利回り

※2 エリア区分「東京都心5区」…千代田区、中央区、港区、新宿区、渋谷区

「その他首都圏」…上記5区を除く18区、東京都下、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県、栃木県、群馬県

「地方」…上記2区分(東京都心5区、その他首都圏)以外のすべて

(2) 直近決算鑑定キャップレート(※3) **4.6%** ±0.0pt 

◆前回決算と比較可能な 3,254物件

①エリア別	東京都心5区	883件	: 4.0%	(前回決算 4.0%)
	地方	1,043件	: 5.1%	(前回決算 5.1%)
②アセットタイプ別	オフィス	878件	: 4.3%	(前回決算 4.3%)
	共同住宅	1,474件	: 4.6%	(前回決算 4.6%)

※3 直近決算期末(2017年8月~2018年1月)の鑑定評価における直接還元法の還元利回り

その鑑定CRから前回決算期末(2017年2月~2017年7月)の鑑定CRを控除して変動幅を算出

各利回りは前期と比較して、上昇:赤、横ばい:黄色、低下:緑で表示しております。

#### ◇鑑定CR

- ①取得時鑑定キャップレートは前期から0.2%ポイント低下
  - ・エリア別では、「東京都心5区」と「その他首都圏」で低下、「地方」で横ばい、アセット別では「オフィス」と「共同住宅」が低下、「ホテル」で上昇となった。
- ②期末鑑定評価におけるキャップレートは半年前の前回決算期末から横ばい。
  - ・エリア・アセットタイプ別全ての項目において横ばいとなった。
  - ・2011年7月(対応する決算期末は2010年11月~2011年4月)に、それまでの上昇から下落に転じて以降、低下傾向が継続していたが、各エリア・アセットタイプで下落幅は縮小し、今決算期は横ばいとなった。

## Ⅲ. 運用時NOI利回り

### Ⅲ. 運用時NOI利回り

(1) 運用時NOI利回り(※1) **4.9%** ±0.0%



◆全2,691件のNOI利回り (前期 2,646件 4.9%)

① エリア別	東京都心5区	695件	: 4.2%	(前期 687件 4.3%)
	その他18区	631件	: 4.6%	(前期 621件 4.6%)
	地方	897件	: 5.5%	(前期 873件 5.5%)
②アセットタイプ別	オフィス	712件	: 4.7%	(前期 689件 4.8%)
	共同住宅	1,218件	: 4.8%	(前期 1,220件 4.9%)

※1 2017年12月末日までに決算期末を迎え、2018年2月末日までに決算情報が公表された全2,691物件のNOI利回り

(2) 直近決算運用時NOI利回り(※2) **4.8%** -0.2%



◆前回決算と比較可能な 1,290件

① エリア別	東京都心5区	376件	: 4.2%	(前回決算 4.3%)
	その他18区	314件	: 4.5%	(前回決算 4.7%)
	地方	398件	: 5.4%	(前回決算 5.6%)
②アセットタイプ別	オフィス	319件	: 4.7%	(前回決算 4.9%)
	共同住宅	622件	: 4.7%	(前回決算 5.0%)

※2 2017年11月～2018年1月に決算期を迎えた物件のNOI利回りを、前回決算(2017年5月～2017年7月)のNOI利回りと比較

◆参考データ

①賃料水準	<b>13,150円/月坪</b>	(前回決算 @13,120円/月坪) <b>+0.2%</b>
②稼働率	<b>98.1%</b>	(前回決算 97.8%) <b>+0.3pt</b>

利回り等は前期と比較して、上昇:赤、横ばい:黄色、低下:緑で表示しております。

◇NOI利回り

①運用時NOI利回り(年額NOI/期末鑑定評価額)の平均は4.9%で前回から横ばい・過去最低水準を維持しており、エリア別の「東京都心5区」、アセット別の「オフィス」及び「共同住宅」においては前回より低下、その他は引続き横ばい傾向。

②直近決算の運用時NOI利回りを前回決算と比較した結果は、エリア・アセット別全項目で低下。